



安全データシート

Page 1 of 13

LOCTITE インスタントミックス硬化剤

SDS No. : 250222

V001.2

ヘンケルジャパン株式会社

改訂: 01. 04. 2025

発行日: 30. 07. 2025

1. 化学物質等及び会社情報

製品コード : 2897489
製品名 : LOCTITE インスタントミックス硬化剤
推奨される用途 : 2液型エポキシ接着剤

会社名 :
ヘンケルジャパン株式会社
東京都品川区東品川2-2-8
スフィアタワー天王洲 14F
140-0002
電話番号 : +81 (45) 758-1800

2. 危険有害性の要約

GHS分類 :

危険有害性クラス	危険有害性区分
皮膚刺激	区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
皮膚感作性	区分 1
水生環境有害性 短期 (急性)	区分 3
水生環境有害性 長期 (慢性)	区分 3

GHSラベル要素:

絵表示:



注意喚起語:

危険

LOCTITE インスタントミックス硬化剤

ヘンケルジャパン株式会社

危険有害性情報:	H315 皮膚刺激。 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 H318 重篤な眼の損傷。 H412 長期継続的影響により水生生物に有害。
安全対策	P261 ミスト/蒸気の吸入を避ける。 P264 取扱い後はよく手を洗うこと。 P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 P273 環境への放出を避けること。 P280 保護手袋、保護眼鏡及び保護面を着用すること。
応急措置:	P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けんで洗うこと。 P305+P351+P338+P315 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に診断/手当てを受けること。 P333+P313 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。 P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
廃棄:	P501 廃棄するときは、適用法令、及び製品特性に従い、適切な処理・廃棄施設に内容物/容器を廃棄すること。

製品ラベルの有害性情報は、個別の安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物: 混合物

危険有害成分及び濃度

成分 CAS-No.	wt%	GHS分類
(α -ヒドロ- ω -ヒドロキシポリ [オキシ (メチルエチレン)] とペンタエリトリトールのエーテル (4 : 1) の 2-ヒドロキシ-3-スルファニルプロピル=エーテル 72244-98-5	>= 80 - < 90 %	皮膚感受性 1B H317 水生環境有害性 短期 (急性) 3 H402 水生環境有害性 長期 (慢性) 3 H412
N, N'-ビス [3-(ジメチルアミノ) プロピル] 尿素 52338-87-1	>= 10 - < 20 %	皮膚刺激 2 H315 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 1 H318 水生環境有害性 短期 (急性) 3 H402 水生環境有害性 長期 (慢性) 3 H412

労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

4. 応急処置

皮膚にかかった場合:	流水と石けんで洗うこと。クリームを塗ること。汚染された衣類は交換すること。
眼に入った場合:	直ちに流水で15分以上、まぶたをよく開いて眼球・まぶたの隅々まで良くいきわたるように洗うこと。
飲み込んだ場合:	口やのどをすすぐ。コップに1~2杯の水を飲む。医師の診察を受けること。

ヘンケルジャパン株式会社

吸入した場合： 空気の新鮮な場所へ移動させ、不快感が続く場合医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

消火方法： 火災が起きた場合は容器に散水して低温を保つ。
汚染された消火水は別に集めること。下水管に流してはいけない。

適切な消火剤： 二酸化炭素、泡、粉末
細かな霧状の水スプレー

使ってはならない消火剤： 水噴射

火災時の特有の危険有害性： 熱分解は刺激性ガスおよび蒸気の放出をまねき得る。
一酸化炭素
二酸化炭素
窒素酸化物

消火活動を行うものの特別な保護具及び予防措置： 保護具を着用すること。
消防隊員は陽圧自給式呼吸器（SCBA）を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置： こぼれた製品で滑る危険がある。
十分な換気を保つこと。
皮膚および眼への接触を避けること。
不浸透性の手袋とケミカルスブラッシュゴーグルを着用すること。

環境に対する注意事項 下水管／地表水／地下水中に捨てないこと。

封じ込め及び浄化の方法及び機材： 漏出物は砂やパーミュライトのような不活性な物に吸着させ収集すること。適切なラベルを貼って密閉できる容器に入れて保管すること。
13項に基づいて汚染された製品を廃棄物として処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱い注意事項

- 手袋と安全眼鏡を着用すること。
- 皮膚および眼への接触を避けること。
- 作業場が適切に換気されていることを確かめる。
- この製品のミストや蒸気を吸入しないこと。

保管:

安全な保管条件:

- 他の容器に移し替えないこと。
- 容器をしっかり密封しておくこと。
- 涼しく、乾燥した場所に保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策:

作業場がよく換気/吸気されていることを確かめる。

保護具:

呼吸用保護具:

必要なし

手の保護具:

実際の現場の経験では様々な外部影響（たとえば温度）により耐薬品手袋の耐久性はかなり短い場合がある。エンドユーザーは必要な危険評価をする必要がある。損傷している兆候が出ている手袋は取り替える。

眼の保護具:

ぴったり閉じることができるゴーグル。
EN166規格に適合する保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具:

適切な保護服
液体飛沫に対し EN14605規格、又は粉じんに対し EN13982規格に適合する防護服

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態:	液体	色:	透明, 淡黄色
pH:	該当なし, 混合物は (水に) 不溶	臭い:	僅か
沸点:	> 200 °C (> 392 °F)	融点:	該当なし, 製品は液体
蒸気密度:	データ無し/対象外	密度:	1.11 - 1.13 g/cm ³
引火点:	> 250 °C (> 482 °F)	蒸気圧:	データ無し/対象外
爆発範囲 (下限):	データ無し/対象外	爆発範囲 (上限):	データ無し/対象外
水への溶解度	データ無し/対象外	粘度:	10,000 - 15,000 cp > 20.5 mm ² /s
自然発火点:	データ無し/対象外	可燃性:	データ無し/対象外
オクタノール/水分配係	データ無し/対象外	分解温度:	データ無し/対象外

数
粒子特性 データ無し/対象外

10. 安定性及び反応性

安定性 :

反応性 : この製品は強酸および酸化剤と反応する可能性がある。
 エポキシド

化学的安定性: 常温常圧下においては安定
避けるべき条件 熱、ガス、火花および他の点火源。
 過度の加熱。
 不適合物質とは離して保存すること。

危険有害な分解生成物 : 熱分解は刺激性ガスおよび蒸気の放出をまねく可能性がある。
 一酸化炭素
 二酸化炭素
 窒素酸化物

危険な重合反応 : 起こらない。

11. 有害性情報

11.1. 毒物学的影響情報

急性毒性（経口）:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
(α -ヒドロ- ω -ヒドロキシポリ [オキシ (メチルエチレン)] とペンタエリトリトールのエーテル (4 : 1)) の2-ヒドロキシ-3-スルファニルプロピル=エーテル	LD50	2,600 mg/kg	ラット	equivalent or similar to OECD Guideline 401 (Acute Oral Toxicity)
N, N'-ビス[3-(ジメチルアミノ)プロピル]尿素	LD50	5,126 mg/kg	ラット	other guideline:

急性毒性（経皮）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
(α -ヒドロ- ω -ヒドロキシポリ [オキシ (メチルエチレン)] とペンタエリトリトールのエーテル (4 : 1)) の2-ヒドロキシ-3-スルファニルプロピル=エーテル	LD50	> 10,200 mg/kg	ウサギ	equivalent or similar to OECD Guideline 402 (Acute Dermal Toxicity)
N,N'-ビス[3-(ジメチルアミノ)プロピル]尿素	LD50	> 2,050 mg/kg	ラット	other guideline:

急性毒性（吸入）：

データなし

皮膚腐食性／刺激性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
(α -ヒドロ- ω -ヒドロキシポリ [オキシ (メチルエチレン)] とペンタエリトリトールのエーテル (4 : 1)) の2-ヒドロキシ-3-スルファニルプロピル=エーテル	刺激性なし	4 h	ウサギ	OECD Guideline 404 (Acute Dermal Irritation / Corrosion)
N,N'-ビス[3-(ジメチルアミノ)プロピル]尿素	irritating or corrosive		Human, EpiDerm™ SIT (EPI-200), Reconstructed Human Epidermis (RHE)	OECD 439 (In Vitro Skin Irritation: Reconstructed Human Epidermis (RHE) Test Method)
N,N'-ビス[3-(ジメチルアミノ)プロピル]尿素	not corrosive		Human, EpiDerm™ SIT (EPI-200), Reconstructed Human Epidermis (RHE)	OECD 431 (In Vitro Skin Corrosion: Reconstructed Human Epidermis (RHE) Test Method)

ヘンケルジャパン株式会社

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
(α -ヒドロ- ω -ヒドロキシポリ [オキシ (メチルエチレン)] とペンタエリトリトールのエーテル (4 : 1)) の2-ヒドロキシ-3-スルファニルプロピル=エーテル	刺激性なし		ウサギ	equivalent or similar to OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)
N, N'-ビス[3-(ジメチルアミノ)プロピル]尿素	Category 1 (irreversible effects on the eye)		ウサギ	OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)

呼吸器又は皮膚感作性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果	テストタイプ	種	試験方法
(α -ヒドロ- ω -ヒドロキシポリ [オキシ (メチルエチレン)] とペンタエリトリトールのエーテル (4 : 1)) の2-ヒドロキシ-3-スルファニルプロピル=エーテル	Sub-Category 1B (sensitising)	Mouse local lymphnode assay (LLNA)	マウス	OECD Guideline 429 (Skin Sensitisation: Local Lymph Node Assay)
N, N'-ビス[3-(ジメチルアミノ)プロピル]尿素	not sensitising	Guinea pig maximisation test	モルモット	equivalent or similar to OECD Guideline 406 (Skin Sensitisation)

生殖細胞変異原性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果	試験項目／管理経路	代謝活性化／ばく露時間	種	試験方法
N, N'-ビス[3-(ジメチルアミノ)プロピル]尿素	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)
N, N'-ビス[3-(ジメチルアミノ)プロピル]尿素	陰性	in vitro mammalian chromosome aberration test	有無		OECD Guideline 473 (In vitro Mammalian Chromosome Aberration Test)
N, N'-ビス[3-(ジメチルアミノ)プロピル]尿素	陰性	in vitro mammalian cell micronucleus test	有無		OECD Guideline 487 (In vitro Mammalian Cell Micronucleus Test)
N, N'-ビス[3-(ジメチルアミノ)プロピル]尿素	陰性			マウス	equivalent or similar to OECD Guideline 474 (Mammalian Erythrocyte Micronucleus Test)

発がん性

データなし

生殖毒性

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果 / 値	テストタイプ	ばく露経路	種	試験方法
N, N'-ビス[3-(ジメチルアミノ)プロピル]尿素	NOAEL P 500 mg/kg NOAEL F1 500 mg/kg	screening	oral: gavage	ラット	指定されていません

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：

データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果 / 値	ばく露経路	ばく露時間／処理頻度	種	試験方法
N, N'-ビス[3-(ジメチルアミノ)プロピル]尿素	NOAEL > 500 mg/kg	oral: gavage	28 d daily	ラット	OECD Guideline 407 (Repeated Dose 28-Day Oral Toxicity in Rodents)

誤えん有害性：

データなし

12. 環境影響情報

12.1. 生態毒性

毒性（魚）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
(α -ヒドロ- ω -ヒドロキシポリ [オキシ (メチルエチレン)] とペンタエリトリトールのエーテル (4 : 1)) の2-ヒドロキシ-3-スルファニルプロピル=エーテル	LC50	87 mg/l	96 h	Danio rerio	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
N,N'-ビス[3-(ジメチルアミノ)プロピル]尿素	LC50	> 1,000 mg/l	96 h	Oryzias latipes	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)

毒性（ミジンコ）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
(α -ヒドロ- ω -ヒドロキシポリ [オキシ (メチルエチレン)] とペンタエリトリトールのエーテル (4 : 1)) の2-ヒドロキシ-3-スルファニルプロピル=エーテル	EC50	12 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
N,N'-ビス[3-(ジメチルアミノ)プロピル]尿素	EC50	93 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)

水生無脊椎動物に対する慢性毒性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
(α -ヒドロ- ω -ヒドロキシポリ [オキシ (メチルエチレン)] とペンタエリトリトールのエーテル (4 : 1)) の2-ヒドロキシ-3-スルファニルプロピル=エーテル	NOEC	3.5 mg/l	21 d	Daphnia magna	OECD 211 (Daphnia magna, Reproduction Test)

毒性（藻類）：

ヘンケルジャパン株式会社

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
(α -ヒドロ- ω -ヒドロキシポリ [オキシ (メチルエチレン)] とペンタエリトリトールのエーテル (4 : 1)) の2-ヒドロキシ-3-スルファニルプロピル=エーテル	EC50	> 733 mg/l	72 h	Desmodesmus subspicatus	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
(α -ヒドロ- ω -ヒドロキシポリ [オキシ (メチルエチレン)] とペンタエリトリトールのエーテル (4 : 1)) の2-ヒドロキシ-3-スルファニルプロピル=エーテル	NOEC	338 mg/l	72 h	Desmodesmus subspicatus	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
N,N'-ビス[3-(ジメチルアミノ)プロピル]尿素	EC50	> 100 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
N,N'-ビス[3-(ジメチルアミノ)プロピル]尿素	EC10	> 100 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)

微生物に対する毒性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
(α -ヒドロ- ω -ヒドロキシポリ [オキシ (メチルエチレン)] とペンタエリトリトールのエーテル (4 : 1)) の2-ヒドロキシ-3-スルファニルプロピル=エーテル	EC50	> 1,000 mg/l	3 h	activated sludge of a predominantly domestic sewage	OECD Guideline 209 (Activated Sludge, Respiration Inhibition Test)
N,N'-ビス[3-(ジメチルアミノ)プロピル]尿素	EC50	820 mg/l	3 h	activated sludge of a predominantly domestic sewage	OECD Guideline 209 (Activated Sludge, Respiration Inhibition Test)

12.2. 残留性と分解性

有害物質	結果	テストタイプ	分解性	ばく露時間	試験方法
(α -ヒドロ- ω -ヒドロキシポリ [オキシ (メチルエチレン)] とペンタエリトリトールのエーテル (4 : 1)) の2-ヒドロキシ-3-スルファニルプロピル=エーテル	容易に生分解されていません。	aerobic	5 %	28 d	OECD Guideline 301 B (Ready Biodegradability: CO2 Evolution Test)
N,N'-ビス[3-(ジメチルアミノ)プロピル]尿素	容易に生分解されていません。	aerobic	1 %	28 d	OECD Guideline 301 C (Ready Biodegradability: Modified MITI Test (I))

12.3. 生態蓄積性

有害物質	生物濃縮係数	ばく露時間	温度	種	試験方法
N,N'-ビス[3-(ジメチルアミノ)プロピル]尿素	< 2.3	28 d	25 °C	Cyprinus carpio	OECD Guideline 305 (Bioconcentration: Flow-through Fish Test)

ヘンケルジャパン株式会社

12.4. 土壌中の移動性

有害物質	LogPow	温度	試験方法
(α -ヒドロ- ω -ヒドロキシポリ [オキシ (メチルエチレン)] とペンタエリトリトールのエーテル (4 : 1)) の2-ヒドロキシ-3-スルファニルプロピルエーテル	1.2	20 ° C	OECD Guideline 107 (Partition Coefficient (n-octanol / water), Shake Flask Method)
N,N'-ビス[3-(ジメチルアミノ)プロピル]尿素	0.817	20 ° C	OECD Guideline 107 (Partition Coefficient (n-octanol / water), Shake Flask Method)

12.5. PBTおよびvPvB評価の結果

この混合物には、PBTまたはvPvBと評価される物質は含まれていません。

12.6. 他の有害影響

データなし

13. 廃棄上の注意

推奨廃棄方法:

国または地方自治体の規則に従って廃棄すること。
製品が下水または排水溝に入らないようにすること。

汚染容器包装の廃棄方法:

国または地方自治体の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

Marine transport IMDG:
危険物には該当しない。

Air transport IATA:

Class: 9
Packing group: III
Packing instructions (passenger) 964
Packing instructions (cargo) 964
UN no. : 3334
Label: 9
Proper shipping name: Aviation regulated liquid, n. o. s. (Mercaptan polymer)

国内輸送規制:

陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に該当する場合は定められている運送方法に従う。

海上輸送: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送: 航空法に定められている運送方法に従う。

15. 適用法令**労働安全衛生法 :**

名称等を通知すべき有害物	該当なし
名称等を表示すべき有害物	該当なし
特定化学物質第1類物質	該当なし
特定化学物質第2類物質	該当なし
特定化学物質第3類物質	該当なし
特定化学物質特別管理物質	該当なし
第1種有機溶剤等	該当なし
第2種有機溶剤等	該当なし
第3種有機溶剤等	該当なし
変異原性が認められた既存化学物質	該当なし
変異原性が認められた届出物質	該当なし
がん原性物質 (ISHL 第 57-1、 57-2 および 57-3条、施行規則条項 第 577-2-3条)	該当なし
皮膚等障害化学物質等	該当なし

消防法 指定可燃物, 可燃性液体類

毒物及び劇物取締法 : 該当しない

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法) : (含有率表示は代表値) 該当しない
(含有率単位が%0の場合 %0=1/10%)

16. その他の情報

発行日: 30.07.2025

ヘンケルジャパン株式会社

注意:

この安全性データシートは日本産業規格（JIS: Z 7253）に基づいて作成しており、日本の法律にのみ則った情報を提供しております。他の管轄地域又は国の実体法または輸出法に関しては、いかなる種類の表明又は保証も行いません。ここに提供している情報が他の管轄地域の実質的な輸出又はその他の法令に準拠していることを輸出前に確認して下さい。ご不明な点がございましたらHenkel Product Safety and Regulatory Affairsにお問い合わせ下さい。

お客様各位、

ヘンケルは、バリューチェーン全体に沿ったさまざまな機会を促進することにより、持続可能な未来を築くことをお約束します。

SDSを紙から電子版に切り替えて受け取りたい場合は、最寄りのカスタマーサービスにお問い合わせください。

個人用ではない電子メールアドレス（例：SDS @ your_company.com）を使用することをお勧めします。

ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含む、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいかなる2次的・偶発的損害についての責任も拒否する。

この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。